NEWS RELEASE



2017年8月4日 三井情報株式会社

MKI、グローバルで ERP マネージドサービスを展開する、 米国 Velocity Technology Solutions, Inc. と国内で初めて代理店契約を締結

-SAP 社 ERP 向け基盤の構築・運用を行う

「MKI PaaS レイヤー・マネージドサービス for SAP® ERP」を 8 月から提供開始-

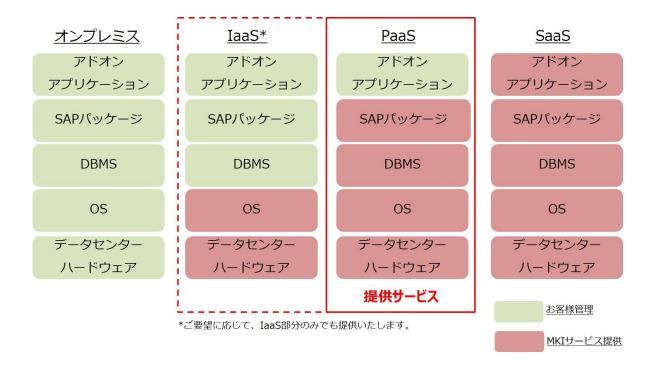
三井情報株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:小日山 功、以下 MKI)は、ERP システムのフルマネージドサービスを提供する、Velocity Technology Solutions, Inc.(本社:米国ノースカロライナ州、President & CEO:Keith Angell、以下 Velocity)と日本で初めて代理店契約を締結したことを発表します。MKI はこれに伴い、国内向けに Velocity のサービスを活用した SAP 社の ERP 向け PaaS 基盤提供サービス「MKI PaaS レイヤー・マネージドサービス for SAP® ERP」を8月から提供開始します。MKI は、5年後までに50社への「MKI PaaS レイヤー・マネージドサービス for SAP ERP」導入を目指します。

Velocity は、SAP 等主要な ERP システムの基盤からアプリケーションまでカバーしたマネージドサービスを提供しています。Velocity はその強みとして、独自の自動化技術(特許出願中)を持っており、通常 2 週間程度かかる SAP 社の標準環境での ERP 構築を、サイジング情報などを設定することで、1 日で環境構築可能です。SLA もハードウェアや OS 部分だけではなく、SAP の ERP 部分まで含めて 99.75%の稼働率を定義しているため、安定的な運用を提供します。また、Velocity のサービスはアマゾン ウェブ サービス(以下 AWS)をベースとしているため、事業規模が大きくなってリソースが更に必要な場合でも、差額の契約で柔軟にリソース変更が可能です。

MKI は、これまでの SAP の ERP の構築・運用実績を活かし、Velocity と協業の上、SAP の ERP 向け PaaS 基盤 提供サービス「MKI PaaS レイヤー・マネージドサービス for SAP ERP」として、国内に展開します。PaaS 基盤の提供と 運用は Velocity が担い、ローカライズ、販売、問い合わせ窓口、一次切り分け等、全体マネージメントを MKI が担います。このように、PaaS 領域を Velocity と MKI が担うことで、エンドユーザ並びに SI ベンダーは、より独自の知見が 必要となるアプリケーション領域にリソースを集中することが可能です。

MKI はこれからも、様々なパートナーと協力しながら、SAP の ERP システムの構築から運用までの豊富なノウハウを活かした、付加価値の高い ICT サービスやシステムを提供していきます。

■「MKI PaaS レイヤー・マネージドサービス for SAP ERP I 概要図



以上

【三井情報株式会社について】

三井情報株式会社(MKI)は、コンサルティングからシステム開発、基盤構築や運用・保守など IT に関わる多様なサービスを半世紀にわたりお客様に提供してきました。合併 10 周年を迎えた 2017 年 4 月には新たに"デジタルトランスフォーメーションセンター"を設置し、お客様のビジネス創造を実現する新しい IT サービスを展開しています。MKI は常に市場やお客様のニーズを捉え、蓄積された技術と知 = KNOWLEDGE を駆使することで、新たなビジネスの創出と顧客への価値提供に絶え間なく挑戦し続けていきます。

ホームページ: http://www.mki.co.jp/

- ※三井情報、MKI 及びロゴは三井情報株式会社の商標または登録商標です。
- ※アマゾン ウェブ サービス、Amazon Web Services, AWS は、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- ※SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。
- ※本リリースに記載されているその他の社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

TEL: 03-6376-1115 E-mail: sales@ml.mki.co.jp